

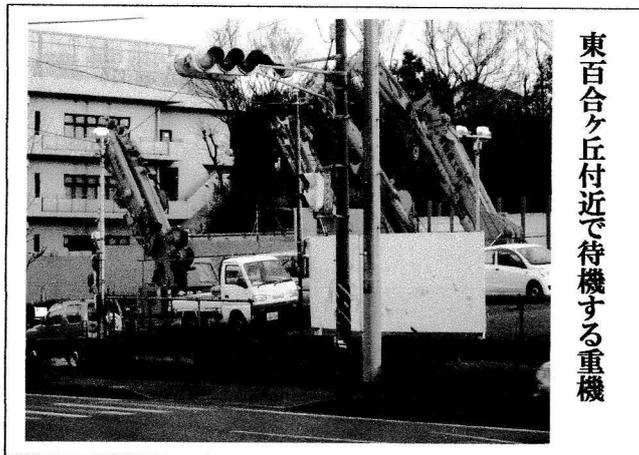
ここが問題！リニア新幹線

2017. 2. 18発行 NO. 51

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 web-asao.jp/hp/linear

JR東海が東百合ヶ丘で非常口整地作業強行へ

JR東海は1月14日と18日、麻生区の長沢小学校で東百合ヶ丘3丁目に計画中の非常口工事の住民説明会を実施した。説明会では数多くの質問や意見が出されたが、JR東海から住民が納得できる具体的な説明がなかった。にもかかわらず、JR東海は工事現場に重機を持ち込み、整地作業を強行しようと



東百合ヶ丘付近で待機する重機

している。説明会后私たちは、JR東海の神奈川工事事務所(川崎分室)あてに、より詳細な工事説明と、説明会実施の告知は町内会の回覧板によることなく、市の広報やタウンニュースなど多種の媒体を使って告知するよう求める申し入れを行い、写しを当日、市まちづくり局や市議会議員に手交した。

地元との工事協定に市が積極的関与を

JR東海は工事を強行するために手段を選ばない。万全の環境保全措置を講じるから工事の影響は許容範囲内だと強弁する。そして、町内会長などに攻勢をかけ、国のインフラ整備事業だと主張し住民の分断や切り崩しを図るのが常套手段である。川崎市民にとってリニアの非常口やトンネルは迷惑施設である。非常口周辺の住民が自主的に判断しJR東海との間で工事保全や安全管理の協定を結ぶことは有りうるが、それを締結するための必須条件は、町内会や自治会に参加していない人たちを含め広範囲の住民全体に内容を開示し、理解と賛同が得られることである。家屋への影響、工事ヤード内の事故など重大な問題が起きた場合は直ちに工事を中止することを明記することも要件である。

また工事の具体的な内容を知らされない住民がJR東海や工事を請け負ったゼネコンと対等に渡り合うことは極めて困難であり、市として住民に対し助言をするなど積極的に関与することが求められる。

川崎市は非常口工事の詳細な説明を求めよ

～川崎市民160名の賛同を得て市議会に陳情書提出～

10年に及びリニアの非常口やトンネル工事は周辺だけでなく広域的な影響を与えることが避けられない。残土の行き先についてもほとんどが不明である。私たちは工事について、市が市民に寄り添う立場で具体的かつ詳細な内容の説明をJR東海に求める陳情書を2月13日、市議会議長宛に提出した。(陳情書は2～3面に記載)。提出後、まちづくり局交通政策室長と環境局環境評価室長に面会し、陳情の趣旨を説明し、工事に関する指導を行うよう求めた。面談の中で、工事中の周辺の振動、騒音、大気質の調査について市が主導的に行うよう求めたが、環境評価室長は「住民側の求めによっては市が調査を行うこともあるが、住民から要望があれば測定機器などを貸し出すことができる」と述べた。

なお、3月4日(土)、4日(日)、7日(火)、梶ヶ谷非常口工事について説明会が行われる(終面記載)。

平成29年2月13日

川崎市議会議長 石田康博殿

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

共同代表 天野捷一

川崎市高津区新作5-22-1-103

〃 山本太三雄(宮前区)

リニア新幹線を考える麻生・多摩の会

世話人 矢沢美也(麻生区) 他賛同人160名

中央新幹線の川崎市内工事計画の詳細な内容説明をJR東海に求める陳情

<陳情要旨>

1. 市は、JR東海が提出した東百合ヶ丘非常口工事の環境保全計画書を市民に公開すること。
 2. 市は、JR東海に対し、非常口予定地や周辺のボーリング調査、土壌汚染調査を行わせ、その結果を住民に対し公表すること。
 3. 市は、麻生区東百合ヶ丘非常口周辺の住民らから提出された申入れ書(別紙2)に対し、JR東海に誠意ある回答を行うよう求めること。
 4. 市は、JR東海とともに、説明会の開催日、場所については広報紙やホームページ、タウンニュースなどを活用し、市民への告知を徹底すること。
 5. 説明会での住民の発言のほとんどが工事に対する疑問や不安の声であることに鑑みて、市は、住民の理解が得られない間は性急な着工を認めないこと。
- 以上につき市議会のご尽力をお願いします。

<陳情の理由>

- (1) 東海旅客鉄道株式会社(JR東海)は、本年1月14日と同18日に、麻生区の市立長沢小学校において、中央新幹線(リニア新幹線)の麻生区東百合ヶ丘3丁目に建設予定の非常口工事について説明会を開催しました。私たちは昨年11月、JR東海と市まちづくり局に対して、説明会に多数の住民が参加できるよう、あらゆる広報手段を使って開催日・場所の告知を行い、併せて工事説明資料の事前配布などを要請しました。ところが、周辺町内会・自治会の回覧版を使っただけの告知にとどまったため、両日の説明会参加者は80名~60名にとどまりました。工事説明会は住民のために行われるものであり、多数の参加を促す努力に欠けた説明会は大規模工事の説明会としての条件を満たしているとは言えません。
- (2) リニア新幹線の非常口工事は、直径39メートルの立坑を80から100メートルの深さまで掘り、地下トンネル工事のための掘削機械などを搬入し、その建設発生土を地上に運び出す

ために行われるもので、東百合ヶ丘や宮前区梶ヶ谷の工事ヤードには大規模な泥水分離施設や土砂の仮置き場(ピット)、大型クレーンが設置され、工事中は膨大な数のダンプカー、コンクリートミキサー車が入り出します。

このため、周辺住民は長期の工事による日常的な騒音・振動、土砂の飛散や流出、大気汚染、周辺の交通事故などの影響を危惧しています。このような大規模工事による深刻な影響が懸念されるにもかかわらず、工事説明会におけるJR東海の説明は具体性に欠け、説明会での住民の理解は得られなかったものと考えます。

- (3) 東百合ヶ丘非常口工事には解決すべき多くの課題があります。まず、周辺への騒音・振動・粉じんの影響です。隣接するスーパー「いなげや」の造成工事でも、周辺の住民は騒音・振動・粉じん被害を受けました。リニア新幹線の非常口工事はそれと比較できないほどの大工事であり、囲いをつくる、水を撒くなどの小手先の対策では被害は防げません。さらに、東百合ヶ丘非常口からは片平非常口までのトンネル残土を排出するため、住民への工事の影響は長期間に及びます。また事前に家屋調査を行い工事中または工事後に被害が認められた場合補償すると説明しましたが、調査の実施区域は工事ヤードから30メートル以内と狭い範囲に限られています。今回の工事説明会で住民からは「いなげやの工事での家屋調査はより広範囲に行われた。写真をとるなどきめ細かい調査をすべきだ」との声がありました。

また、工事車両の交通安全への配慮も欠如しています。JR東海は、住民からは北側に歩道を設置してほしいという住民の要望を拒否しました。非常口工事の際、当初工事車両は西側の入り口から工事ヤードに入りますと説明していますが、大型のダンプが通ればすれ違いが出来ない狭隘な道路であり、これを避けるため一般車両が東側や北側の狭い道を走行することになります。その結果この道を生活道路にしている住民に事故の危険があります。こうしたことから、工事の施工方法や車両の走行などについて再検討すべきであり、市としても市民の健康や安全、財産権を守るためにも、JR東海に対し工事計画や環境保全計画の再検討を促すべきと考えます。

- (4) 今後、他の市内4か所の非常口工事についても、JR東海は工事説明会を行い環境保全計画書を提出し着工をする計画と思われます。

ほかの市内4か所の非常口工事についてもそれぞれに多くの課題があり、それらの解決をせずに工事を認めることは、周辺住民に被害をもたらす地域社会の将来にとって禍根を残すこととなります。市の幹部は「リニア新幹線は川崎にとってメリットがない」と表明しました。

このままJR東海のなすがまま工事を許せば、市民生活上メリットどころかデメリットを生み続けることとなります。市は市民に寄り添い、JR東海に対し、厳しく環境保全対策を講じるよう指導・監督し、性急な着工は認められないとの姿勢を示していただくよう切望します。

以上

.....
この陳情は、「第81号」として受理され、早ければ3月中旬のまちづくり委員会又は環境委員会で審議される予定です。麻生区を中心に賛同された160名の市民の皆さんに感謝します。

梶ヶ谷非常口工事説明会

- ①3月4日(土)13:30～梶が谷小学校体育館
- ②3月5日(日)13:30～野川小学校体育館
- ③3月7日(火)18:00～かわさき市民プラザ
ふるさと劇場



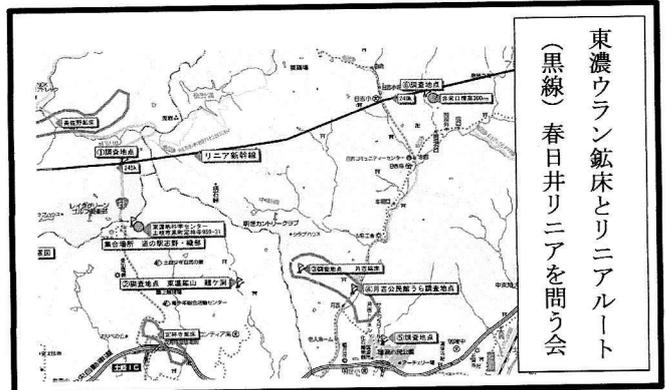
既に整地された梶ヶ谷の非常口予定地。土の飛散防止のため緑色の薬剤が散布されている

- ◆ここからは市内のリニア工事では最大の250万立方メートルの残土が排出される。JR東海はどの程度貨物列車で臨海部に運ぶか明確にしていない。一方、工事ヤードには大量の工事車両が出入りする計画は変更なし。臨海部での残土処理の方法についても不明のままで、仮設の土砂置き場で環境影響が生じる。この臨海部集積地でのアセスメントは未実施。
- ◆貨物列車で運ぶにしても、積み込みのため大型のディーゼル機器や機関車が稼働することや工事車両の走行で周辺への騒音、振動、大気汚染などの影響が生じる。
- ◆工事ヤード内に一時的に残土を仮置きするため、土埃や残土の流出の恐れがある。
- ◆非常口から周辺30m以内というJR東海の家屋調査方針であるなら、梶ヶ谷では1戸も家屋調査が行われないことになる。
- ◆保守基地の工事については全く説明がない。
- ◆ルート上の地価の下落は必至である。

JR東海は説明会の実施について、期日・場所の告知は町内会・自治会の回覧板だけに依拠しています。このため説明会を知らない住民も多く、結果的に少ない参加者のための説明会になっています。私たちは東百合丘の説明会前に周辺地域に説明会の日時・場所を知らせ、説明会で疑問や意見を表明して下さいという内容のチラシをポスティングしました。梶ヶ谷非常口工事説明会に関しても、説明会を前にして周辺にポスティングを行いました。

2月24日東京地裁に集合

ストップ・リニア！訴訟第3回口頭弁論
今回は、岐阜県土岐市の原告が、東濃ウラン鉱床にリニアのトンネルを掘る工事の危険性について意見陳述を行います。



東濃ウラン鉱床とリニアルート
(黒線) 春日井リニアを問う会

2月24日(金)の行動予定

- 13:15 東京地裁前集合、集会
- 14:00 傍聴券抽選
- 14:30 開廷、原告意見陳述、代理人弁論
- 15:30 司法記者クラブで記者会見
- 16:00 第3回口頭弁論報告集会
会場:参議院議員会館101会議室
今回も傍聴席を満席にしよう!

アメリカのインフラ整備のためリニア導入を
～安倍首相がトランプ大統領との会談後～
「安倍首相は(2月10日の)首脳会談後の記者会見で、『最新のリニア技術なら、ここ(ワシントン)DCからニューヨークをたった1時間で結べる』と強調。『日本は高い技術力で大統領の成長戦略に貢献できる』と述べた。日米間で対立がない経済協力を対話の枠組みに入れ、貿易問題に議論が集中するのを避けるねらいもある。

ただ、リニア計画を含め構想段階のものや、他国と受注競争中のものもあり、日本の協力をどれだけ打ち出せるか未知数だ」

(2月14日 朝日新聞)

ここが問題！リニア新幹線NEWS NO. 51

- 発行: リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会
- 天野捷一(中原・高津) 090-3910-8173
- 山本太三雄(宮前) 090-8775-1879
- 矢沢美也(麻生・多摩) 090-6108-6568